

給食だより 2月



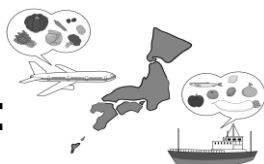
2月の
テーマ

食生活を通して、環境について考えよう。

私たちの食生活は、社会と大きく関わりながら営まれています。「食べる」という行為は、健康の基本となるだけでなく、食材の生産（農林水産業）、加工・流通・調理・消費、ゴミの廃棄・リサイクルなど地球環境と深くつながっています。今月は、食が及ぼす私たちの生活と環境への影響について考えてみましょう。

日本の食料自給率は約40%

約60%を海外からの輸入に依存



大量の食品を輸入する一方で…

日本はそのうち約30%を廃棄

日本の食品廃棄量：年間約1700万トン



そのうち500～800万トンが「食品ロス」

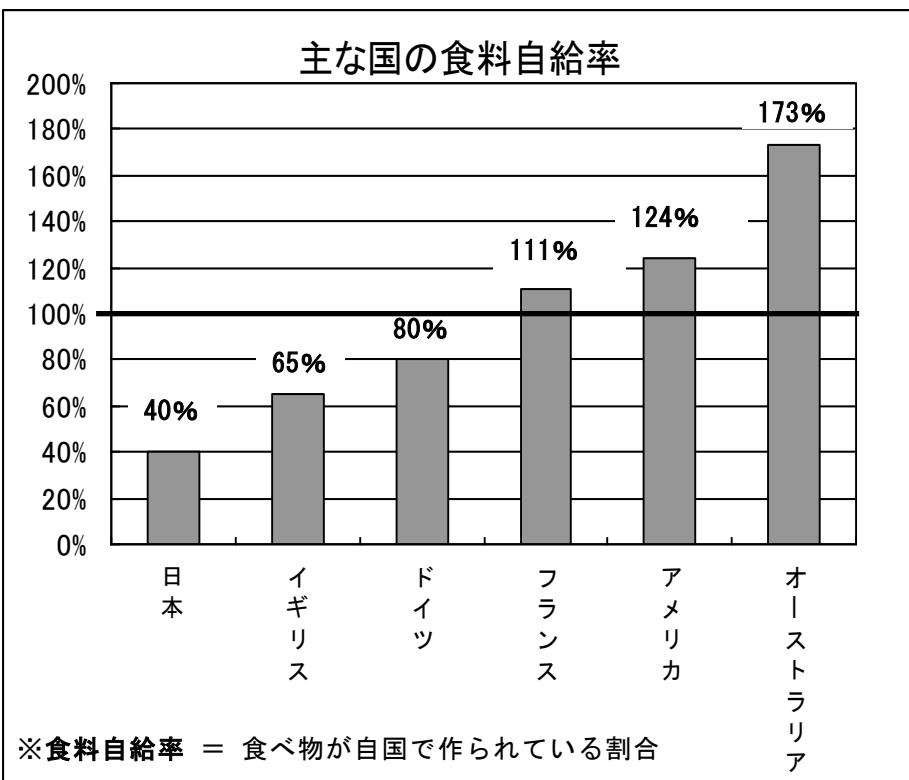
「食品ロス」とは…

→まだ食べられるのに
廃棄されている食品



★ 国民1人あたりの年間食品ロス

約15kg



食品ロスを減らす食生活 私たちにできることを考えよう



好き嫌いなどにより食べ残された食品は、食品ロスへと変わってしまいます。食べ方に気をつけて、なるべく食べ残しがないようにしましょう。

まずは、給食をなるべく残さず食べることから始めましょう！



食料は土地・水・エネルギー・肥料・飼料など多くの資源を投入して作られています。食品ロスは多く出すことは、貴重な資源を無駄使いしていることとなります。

冷蔵庫の中をこまめにチェックして賞味期限を確認する、食べ切れる量を作るなど、工夫をしましょう。



作ってくださった方の思いを考え、感謝の心を持って、食事をいただきましょう。



私たちの日常生活では食料品が豊富にあり、簡単に食べたいものが手に入ります。そのため平気で食事を残したり、気軽に食べ物を捨ててしまうことがありますか？

世界的に見ると、世界人口約72億人のうち、およそ8億7千万人（8人に1人）が食料・栄養の不足で苦しんでいるというデータがあります。

この現実を変えていくためにも、私たち一人ひとりが意識して食べ物を大切にする気持ちを持ちましょう。